

第4章 日常生活圏域での具体施策

1. 日常生活圏域

うるま市の日常生活圏域[※]は、「うるま市地域福祉計画」との整合を図るものとし、勝連地区、与那城地区、具志川第1地区、具志川第2地区、石川地区の5つの圏域とします。

※日常生活圏域とは

介護保険の事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針において、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況その他の条件を総合的に勘案して日常生活圏域を定めることとされています。また、その範囲については、高齢者が住み慣れた地域で生活継続が可能になるよう、地域住民が公共サービスを含めた様々なサービスの担い手として参加し、コミュニティの再生や新たな公共空間の形成に取り組める範囲、としています。

■ 日常生活圏域別人口の現状

平成23年10月1日現在

	勝連地区	与那城地区	具志川第1地区	具志川第2地区	石川地区	合計
0～14歳	2,283	1,805	6,690	6,534	4,237	21,549
15～39歳	4,236	3,532	11,608	11,311	7,582	38,269
40～64歳	4,886	4,433	11,607	10,652	7,661	39,239
65歳以上	2,656	2,813	5,728	5,035	4,060	20,292
65～74歳(前期高齢者)	1,159	1,148	2,709	2,660	1,967	9,643
75歳以上(後期高齢者)	1,497	1,665	3,019	2,375	2,093	10,649
総人口	14,061	12,583	35,633	33,532	23,540	119,349
総人口の伸び	0.0%	-0.8%	0.4%	1.4%	0.9%	0.6%
65歳以上人口の伸び	0.2%	-0.8%	1.7%	-0.3%	0.2%	0.3%
65歳以上に占める 前期高齢者の割合	43.6%	40.8%	47.3%	52.8%	48.4%	47.5%
65歳以上に占める 後期高齢者の割合	56.4%	59.2%	52.7%	47.2%	51.6%	52.5%
高齢化率	18.9%	22.4%	16.1%	15.0%	17.2%	17.0%

□平成22年値

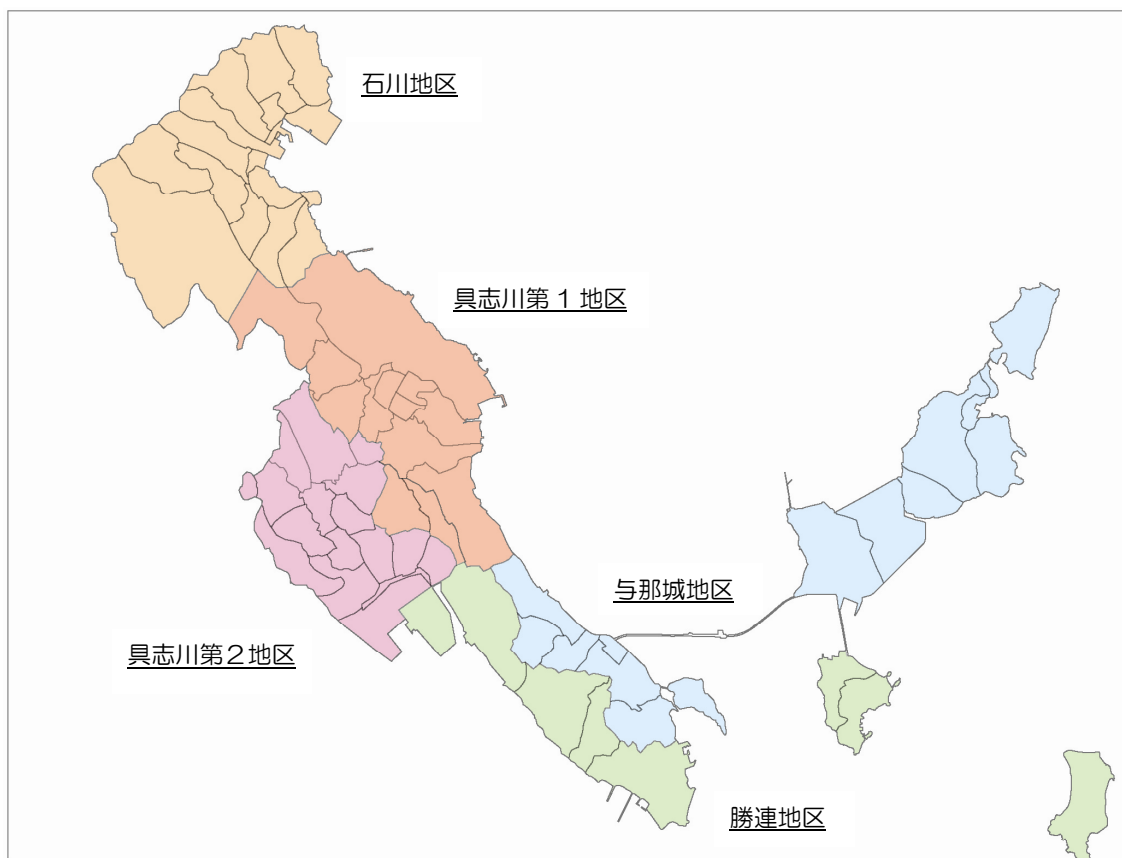
平成22年10月1日現在

	勝連地区	与那城地区	具志川第1地区	具志川第2地区	石川地区	合計
地区人口	14,068	12,682	35,495	33,085	23,338	118,668
65歳以上人口	2,651	2,837	5,633	5,051	4,053	20,225
高齢化率	18.8%	22.4%	15.9%	15.3%	17.4%	17.0%

資料：住民基本台帳

※人口の伸びは、前年との比較による。

■ うるま市日常生活圏域



□各地区の行政区名

勝連地区	与那城地区	具志川第1地区	具志川第2地区	石川地区
南風原、平安名、内間、平敷屋、津堅、浜、比嘉	照間、与那城西原、与那城、饒辺、屋慶名、平安座、桃原、上原、宮城、池味、伊計	具志川、田場、赤野、宇堅、天願、昆布、栄野比、川崎、西原、安慶名、上江洲、大田、みどり町1・2丁目、みどり町3・4丁目、みどり町5・6丁目	上平良川、兼箇段、米原、赤道、江洲、宮里、喜仲、平良川、川田、塩屋、豊原、高江洲、前原、志林川、新赤道	曙、南栄、城北、中央、松島、宮前、東山、旭、港、伊波、嘉手苅、山城、石川前原、東恩納、美原
◇7行政区	◇11行政区	◇15行政区	◇15行政区	◇15行政区

2. 日常生活圏域高齢者ニーズ調査結果の概要

- 回答者の属性について、具志川第1地区と石川地区が「高齢者世帯率が高い」、「二次予防事業対象者率が低い」、「認定者率が平均的」、勝連地区と具志川第2地区が「高齢者世帯率が低い」、「二次予防事業対象者率が高い」、「認定者率が比較的低い」など、それぞれ類似点が多くみられます。与那城地区は、後期高齢者率が高い他、高齢者世帯率、二次予防事業対象者率、認定者率とも、他地域に比べ、やや高い割合となっています。

地区	前期、後期高齢者率	高齢者世帯率	二次予防事業対象者率	認定者率
勝連	後期高齢者率が高い	比較的低い	比較的高い	比較的低い
与那城	後期高齢者率が高い	比較的高い	比較的高い	比較的高い
具志川第1	後期高齢者率がやや高い	比較的高い	比較的低い	平均的
具志川第2	前期高齢者率がやや高い	比較的低い	比較的高い	比較的低い
石川	前期、後期ほぼ同数	比較的高い	比較的低い	平均的

※上記で記述している「比較的」は地域間比較によるものです。

- 心身機能、社会参加等の評価項目別の結果について、心身機能の状況をみると、二次予防事業対象者率の高い勝連地区、与那城地区、具志川第2地区のうち、特に勝連地区、与那城地区でリスク者割合が高い傾向がみられました。具体的な内容でみると、市全体の結果で示されたように、勝連地区、与那城地区では「運動器」、「認知症リスク」の項目で、2割前後となっており、他の項目に比べリスク者割合が高くなっています。
- また、日常生活、社会参加の分野では、二次予防事業対象者率の高い勝連地区、与那城地区、具志川第2地区で、リスク者割合が高い傾向がみられます。
- 疾病状況については、各地区とも「高血圧」の有病率が4～5割と高く、具志川第1地区と具志川第2地区で「脳卒中」、「心臓病」、「糖尿病」が他地区に比べやや高く、与那城地区で「筋骨格系疾患」、石川地区で「心臓病」がやや高い傾向がみられます。
- 介護関連では、既往症の割合をみると、具志川第2地区、石川地区で「脳卒中」、具志川第1地区、具志川第2地区で「認知症」の割合が他地区に比べ、やや高くなっています。介護の必要性をみると、二次予防事業対象者率、認定者率の高い与那城地区で、介護を必要とする人の割合が高い傾向がみられます。

以上を踏まえ、地区別に概観すると以下のとおりとなります。なお、以下に示す二次予防事業や介護保険サービスの充実、生きがいつくり支援、地域支援等は、各地区で進めていくべきものとなりますが、地区特性を踏まえた施策の推進を展望するならば、次の視点も考慮する必要があります。

与那城地区は、高齢者像として「後期高齢者率が高い」、「高齢者世帯率が高い」、「二次予防事業対象者率が高い」、「認定者率が高い」など、市内でも高齢化が進み、心身機能や社会性の低下、認定者等支援を必要とする高齢者の割合が多くなっています。島しょ地域を含め、運動器の維持や認知症予防等介護予防への取り組みを強化していくとともに、介護保険サービスの充実を図っていくことが求められます。さらに、超高齢社会への対応として、従来からの地域の結びつきを基本とした適切な地域支援を進めていく必要があります。

具志川第1地区と石川地区は、高齢者像として「高齢者世帯率が高い」、「二次予防事業対象者率が低い」という類似点がみられます。そうした中で、具志川第1地区では自治会活動や老人クラブ活動等地域活動、石川地区では公民館活動がそれぞれ活発に行われており、こうした社会参加や生きがいつくり支援等を進めていくことで、地域での声掛け合いや要介護状態への移行の抑制（二次予防事業対象者の発生抑制等）等が期待できます。

勝連地区と具志川第2地区は、「二次予防事業対象者率が高い」、「認定者率が比較的低い」という類似点がみられます。与那城地区と同様に、心身機能や社会性の低下等により二次予防事業対象者が増えているものと推察されます。運動器の維持、うつや認知症予防等の視点での介護予防への取り組みを強化し、要介護状態への移行の抑制（二次予防事業対象者の維持・改善（認定者の発生抑制）等）を図っていく必要があります。また、生活習慣病予防の視点として市全体の重要課題ではありますが、その中でも生活習慣病の有病者率が高い具志川第2地区では特に留意していく必要があります。

3. 住民参加による施策の推進

施策の推進にあたっては、住民自らの積極的な取り組みが重要となります。したがって、日常生活圏域毎の施策は、「第2章 高齢者福祉計画等の具体施策」を住民参加の視点で整理することとし、以下にその内容を示します。

I-1 健康づくり・生きがいくりの充実

- 自治公民館等で実施される特定健診・各種がん検診を受診しましょう。
- 地区公民館等での生涯学習講座を受講しましょう。
- 地区公民館等を利用し自主サークルの活動を進めましょう。
- 圏域内の社会体育施設を活用し、生涯スポーツを楽しみましょう。
- 地域の老人クラブ活動に参加しましょう。
- 公民館ミニデイ等地域のボランティア活動に参加しましょう。

I-2 介護予防・介護保険サービス等の充実

- 自治公民館や地区公民館等で実施される介護予防出前教室や介護予防活動等に友人を誘って参加しましょう。
- 住み慣れた地域で暮らし続けていくために、身近な地域にある介護保険サービスや医療サービス等を利用しましょう。

II-1 支え合いの仕組みづくり

- 相談、支援が必要な場合には、地区内の「高齢者相談センター」等を利用しましょう。
- 日頃から隣り近所の高齢者を気に掛け、必要に応じて声かけをしましょう。
- 社会福祉協議会が自治公民館で実施する小地域ネットワークづくり出前講座に参加しましょう。
- 地域見守り隊等住民主体の支え合い活動に参加しましょう。

II-2 安心・安全なまちづくり

- 災害時要援護者支援の取り組みを理解し、支援する側あるいは、支援される側として参加しましょう。

4. 日常生活圏域別の具体施策

「第2章 高齢者福祉計画等の具体施策」と上記に位置づけた施策について、日常生活圏域及び日常生活の基礎単位となる行政区単位で展開していく施策を日常生活圏域毎に以下に整理します。圏域別の整理は、各地区の65歳以上人口、地域社会基盤や社会資源の現状、地区の将来人口、地区レベルの具体施策等の内容で行うこととします。

地区名：勝連地区

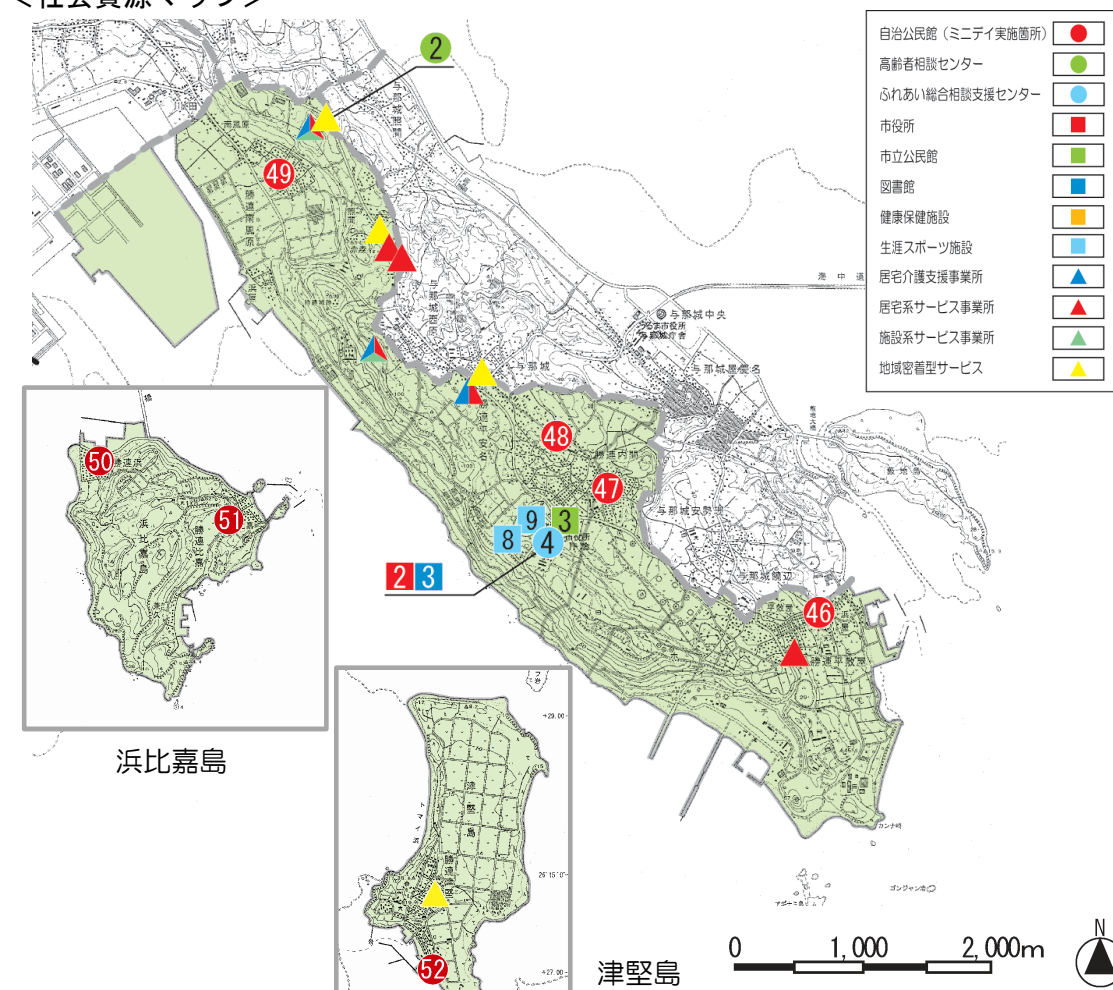
＜地区の現状＞（平成23年9月末現在）

- ・人口 14,061人
- ・世帯総数 5,312世帯
- ・65歳以上人口(対人口比) 2,656人(18.9%)
 - ・65～74歳人口 1,159人
 - ・75歳以上人口 1,497人
- ・高齢者世帯
 - ・高齢単身世帯 629世帯
 - ・高齢者のみの世帯 329世帯
 - ・高齢者のいる世帯 967世帯
- ・二次予防事業対象者 243人
（平成23年度把握事業より）
- ・要介護認定者 559人

＜地域社会基盤等の現状＞

- ・自治会数 7自治会
- ・自治会加入率 69.61%
- ・民生委員児童委員数 25人(定員27人)
- ・老人クラブ会員数 1,449人
（65歳以上人口に占める割合54.6%）
- ・公民館ミニデイ実施自治会 6自治会
- ・介護予防活動等サークル(健康運動) 1サークル
- ・公民館活動サークル 22サークル

＜社会資源マップ＞



地区名：勝連地区**<社会資源一覧>****①地域活動拠点****■自治公民館（公民館ミニデイ実施箇所）**

番号	行政区	電話番号	推進会名	実施日	備考
46	平敷屋	978-2231	平敷屋友愛会	第2火曜日14:00~16:00	自主活動で第4火曜日
47	内間	978-2238	内間みやらび会	第3木曜日14:00~16:00	午前開催あり
48	平安名	978-2237	平安名区福祉がじゅまるの会	第3土曜日14:00~16:00	
49	南風原	978-2235	南風原らんの会	第4木曜日13:00~16:00	午前開催あり
50	浜	977-8450	浜遊会	第1木曜日10:00~12:00	時間変動あり
51	比嘉	977-7227	一心会	第1木曜日14:00~16:00	
52	津堅	978-7510	—	—	公民館ミニデイ未実施

■高齢者相談センター

番号	事業所名称	事業所所在地	電話番号
2	高齢者相談センター かつれん	勝連南風原4908	978-1551

■ふれあい総合相談支援センター

番号	事業所名称	事業所所在地	電話番号
4	うるま市社会福祉協議会（勝連支所）	勝連平安名3043	978-5914

②公的施設**■市役所**

番号	名称	所在地	電話番号
3	うるま市役所勝連庁舎	うるま市勝連平安名3032	978-7237

■市立公民館

番号	名称	所在地	電話番号
2	うるま市立勝連地区公民館	勝連平安名3047	978-7194

■図書館

番号	名称	所在地	電話番号
3	うるま市立勝連図書館	勝連平安名3047	978-4321

■生涯スポーツ施設

番号	名称	所在地	電話番号
8	うるま市勝連B&G海洋センター体育館・プール	勝連平安名2805	978-6040
9	うるま市勝連総合グラウンド	勝連平安名2805	978-6040

地区名：勝連地区

<地区の将来人口等>

	(現状)	(将来推計)		
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
・人口	14,061	14,125	14,171	14,199
・65 歳以上人口	2,656	2,754	2,854	2,916
・65～74 歳人口	1,159	1,200	1,257	1,302
・75 歳以上人口	1,497	1,555	1,595	1,609
・二次予防事業対象者	243	261	305	364
・要介護認定者	559	563	579	587

※将来推計は、平成 23 年現在の各地区の市全体に対する割合で算出。

<地区レベルの施策（住民参加による施策の推進）>

I-1 健康づくり・生きがいつくりの充実

- 自治公民館等で実施される特定健診・各種がん検診を受診しましょう。
- 勝連地区公民館等での生涯学習講座を受講しましょう。
- 勝連地区公民館等を利用し自主サークルの活動を進めましょう。
- 勝連総合クラウンド等社会体育施設を活用し、生涯スポーツを楽しみましょう。
- 地域の老人クラブ活動に参加しましょう。
- 公民館ミニデイ等地域のボランティア活動に参加しましょう。

I-2 介護予防・介護保険サービス等の充実

- 自治公民館や勝連地区公民館等で実施される介護予防出前教室や介護予防活動に友人を誘って参加しましょう。
- 住み慣れた地域で暮らし続けていくために、身近な地域にある介護保険サービスや医療サービス等を利用しましょう。

<圏域内の地域密着型サービス>

- ・小規模多機能型居宅介護 1 箇所（既設）
- ・認知症対応型通所介護 1 箇所（既設）、1 箇所（新規）
- ・認知症対応型共同生活介護 2 箇所（既設）

II-1 支え合いの仕組みづくり

- 相談、支援が必要な場合には、「高齢者相談センターかつれん」等を利用しましょう。
- 日頃から隣り近所の高齢者を気に掛け、必要に応じて声かけをしましょう。
- 社会福祉協議会が自治公民館で実施する小地域ネットワークづくり出前講座に参加しましょう。
- 地域見守り隊等住民主体の支え合い活動に参加しましょう。

II-2 安心・安全なまちづくり

- 災害時要援護者支援の取り組みを理解し、支援する側あるいは、支援される側として参加しましょう。

地区名：与那城地区

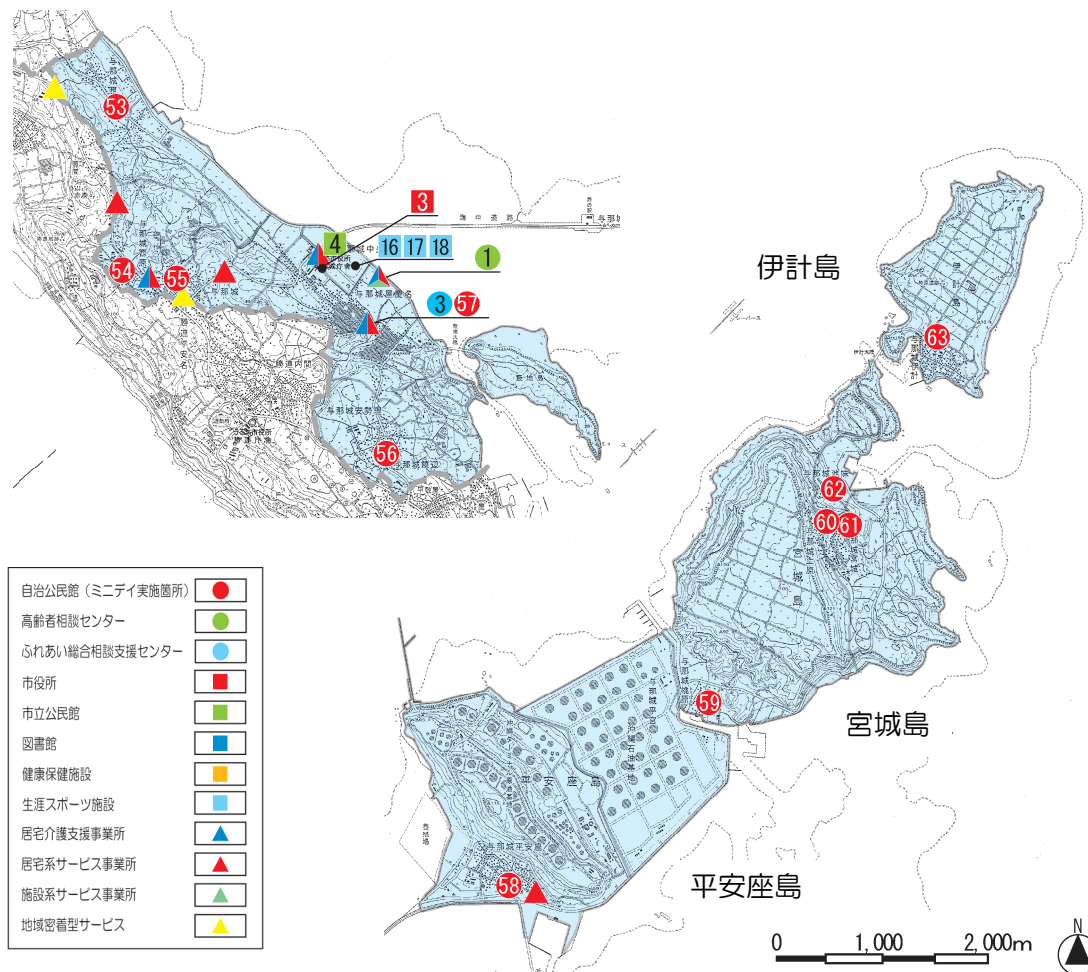
＜地区の現状＞（平成23年9月末現在）

- ・人口 12,583人
- ・世帯総数 4,775世帯
- ・65歳以上人口(対人口比) 2,813人(22.4%)
 - ・65～74歳人口 1,148人
 - ・75歳以上人口 1,665人
- ・高齢者世帯
 - ・高齢単身世帯 666世帯
 - ・高齢者のみの世帯 300世帯
 - ・高齢者のいる世帯 1,096世帯
- ・二次予防事業対象者 247人
（平成23年度把握事業より）
- ・要介護認定者 665人

＜地域社会基盤等の現状＞

- ・自治会数 11自治会
- ・自治会加入率 67.7%
- ・民生委員児童委員数 25人(定員25人)
- ・老人クラブ会員数 696人
（65歳以上人口に占める割合24.7%）
- ・公民館ミニデイ実施自治会 11自治会
- ・介護予防活動等サークル(健康運動) 3サークル
- ・公民館活動サークル 19サークル

＜社会資源マップ＞



地区名：与那城地区

<社会資源一覧>

①地域活動拠点

■自治公民館（公民館ミニデイ実施箇所）

番号	行政区	電話番号	推進会名	実施日	備考
53	照間	978-2233	照間あじさい会	第1火曜日10:00~14:00	
54	与那城西原	978-2236	与那城西原ふれあい友の会	第2木曜日10:00~14:00	
55	与那城	978-2230	与那城なかよクラブ	第3火曜日9:00~13:00	
56	饒辺	978-2232	ジープントー会	第4水曜日9:30~12:00	
57	屋慶名	978-2228	くわでいーさーの会	第2月曜日10:00~13:00	
58	平安座	977-8127	ゆうな会	第2水曜日10:00~13:00	
59	桃原	977-8182	ていーだの会	第4月曜日10:00~14:00	
60	上原	977-8166	上原ゆんたく会	第4金曜日10:00~14:00	
61	宮城	977-7924	なーぐすくランチナーグループ	第1水曜日10:00~14:00	
62	池味	977-8256	池味ふるばんた会	第4火曜日10:00~14:00	
63	伊計	977-7373	伊計イツクマ会	第2金曜日10:00~14:00	

■高齢者相談センター

番号	事業所名称	事業所所在地	電話番号
1	高齢者相談センター よなしろ	与那城屋慶名1410	983-0088

■ふれあい総合相談支援センター

番号	事業所名称	事業所所在地	電話番号
3	うるま市社会福祉協議会（与那城支所）	与那城屋慶名1098	978-0011

②公的施設

■市役所

番号	名称	所在地	電話番号
4	うるま市役所与那城庁舎	うるま市与那城中央1	978-4060

■市立公民館

番号	名称	所在地	電話番号
3	うるま市立与那城地区公民館	与那城屋慶名467-4	978-6836

■生涯スポーツ施設

番号	名称	所在地	電話番号
16	うるま市与那城総合公園陸上競技場	与那城中央5	978-1047
17	うるま市与那城多種目球技場	与那城中央5	978-1047
18	うるま市与那城庭球場	与那城中央5	978-1047

地区名：与那城地区

<地区の将来人口等>

	(現状)	(将来推計)		
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
・人口	12,583	12,640	12,681	12,706
・65 歳以上人口	2,813	2,917	3,023	3,088
・65～74 歳人口	1,148	1,189	1,246	1,290
・75 歳以上人口	1,665	1,729	1,774	1,790
・二次予防事業対象者	247	265	310	370
・要介護認定者	665	670	689	698

※将来推計は、平成 23 年現在の各地区の市全体に対する割合で算出。

<地区レベルの施策（住民参加による施策の推進）>

I-1 健康づくり・生きがいつくりの充実

- 自治公民館等で実施される特定健診・各種がん検診を受診しましょう。
- 与那城地区公民館等での生涯学習講座を受講しましょう。
- 与那城地区公民館等を利用し自主サークルの活動を進めましょう。
- 与那城総合公園陸上競技場等社会体育施設を活用し、生涯スポーツを楽しみましょう。
- 地域の老人クラブ活動に参加しましょう。
- 公民館ミニデイ等地域のボランティア活動に参加しましょう。

I-2 介護予防・介護保険サービス等の充実

- 自治公民館や与那城地区公民館等で実施される介護予防出前教室や介護予防活動に友人を誘って参加しましょう。
- 住み慣れた地域で暮らし続けていくために、身近な地域にある介護保険サービスや医療サービス等を利用しましょう。

<圏域内の地域密着型サービス>

- ・認知症対応型共同生活介護 1 箇所（既設）

II-1 支え合いの仕組みづくり

- 相談、支援が必要な場合には、「高齢者相談センターよなしろ」等を利用しましょう。
- 日頃から隣り近所の高齢者を気に掛け、必要に応じて声かけをしましょう。
- 社会福祉協議会が自治公民館で実施する小地域ネットワークづくり出前講座に参加しましょう。
- 地域見守り隊等住民主体の支え合い活動に参加しましょう。

II-2 安心・安全なまちづくり

- 災害時要援護者支援の取り組みを理解し、支援する側あるいは、支援される側として参加しましょう。

地区名：具志川第1地区

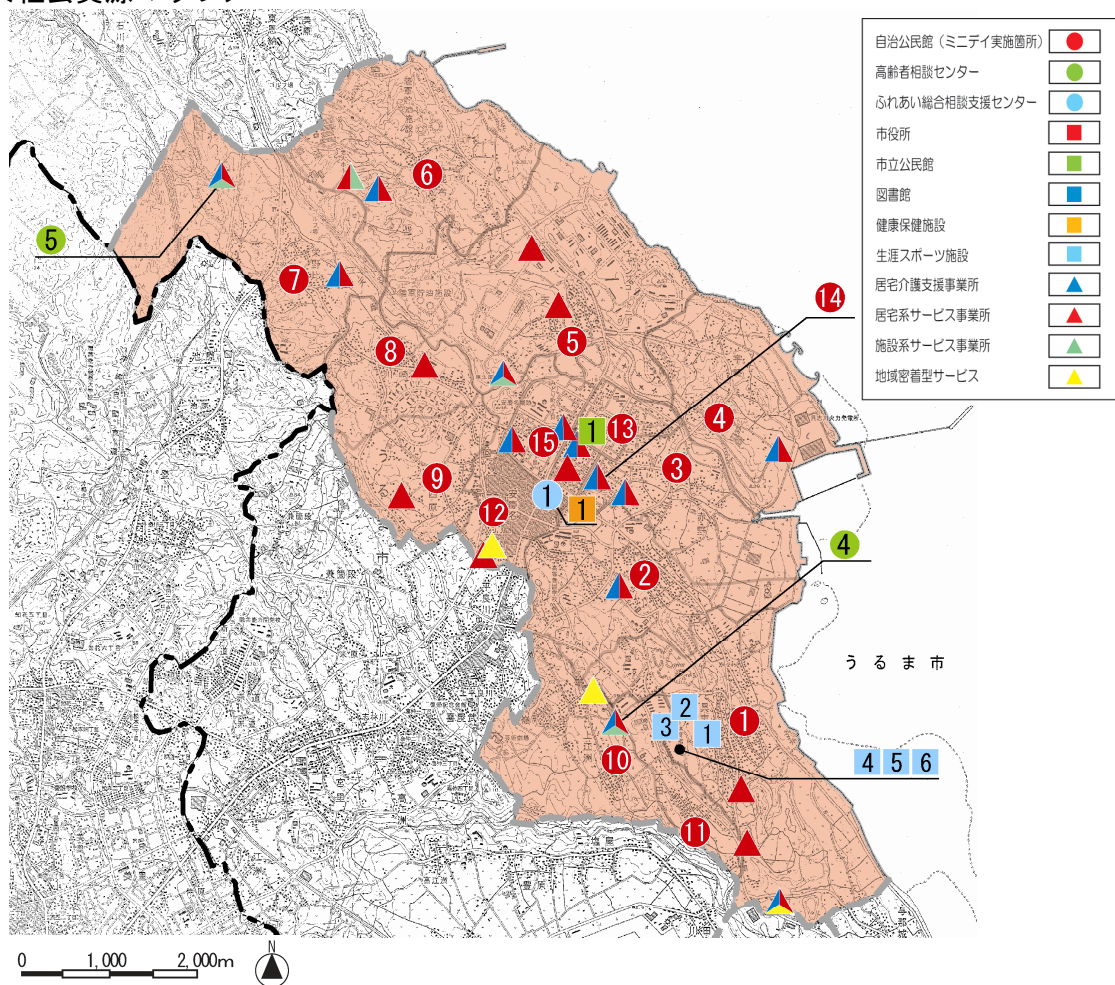
＜地区の現状＞（平成23年9月末現在）

- ・人口 35,633人
- ・世帯総数 13,302世帯
- ・65歳以上人口(対人口比) 5,728人(16.1%)
 - ・65～74歳人口 2,709人
 - ・75歳以上人口 3,019人
- ・高齢者世帯
 - ・高齢単身世帯 1,384世帯
 - ・高齢者のみの世帯 719世帯
 - ・高齢者のいる世帯 2,091世帯
- ・二次予防事業対象者 559人
（平成23年度把握事業より）
- ・要介護認定者 1,166人

＜地域社会基盤等の現状＞

- ・自治会数 15自治会
- ・自治会加入率 72.2%
- ・民生委員児童委員数 44人(定員45人)
- ・老人クラブ会員数 3,244人
（65歳以上人口に占める割合56.6%）
- ・公民館ミニデイ実施自治会 15自治会
- ・介護予防活動等サークル(健康運動) 9サークル
- ・公民館活動サークル 49サークル
（具志川第2地区も含む）

＜社会資源マップ＞



地区名：具志川第1地区

<社会資源一覧>

①地域活動拠点

■自治公民館（公民館ミニデイ実施箇所）

番号	行政区	電話番号	推進会名	実施日	備考
1	具志川	973-3407	具志川区福祉推進会	第4水曜日14:00~16:00	自主活動で第2水曜日
2	田場	973-6069	田場いなほ会	第4火曜日13:30~16:00	
3	赤野	973-9212	赤野区福祉推進会	第3木曜日13:30~16:00	
4	宇堅	973-3558	宇堅福祉推進会	第3火曜日14:00~16:00	午前開催あり
5	天願	972-3573	天願福祉推進会	第1水曜日9:00~12:00	
6	昆布	972-3574	昆布福祉推進つばき会	第2水曜日9:30~12:00	
7	栄野比	972-3551	なんくる会	第3月曜日9:00~12:00	
8	川崎	972-3471	川崎一升わくの会	第1木曜日13:30~16:00	
9	西原	973-3427	西原福祉若竹会	第2水曜日13:30~16:00	午前開催あり
10	上江洲	973-3502	上江洲区福祉推進会	第2木曜日9:30~12:00	10:00~14:00も開催あり
11	大田	973-3555	ウフタバタ推進会	第4火曜日14:00~16:00	
12	安慶名	972-6052	安慶名ふれあい長寿	第2木曜日13:30~16:00	午前開催あり
13	みどり町1・2	974-5480	みどり町1・2丁目福祉推進会	第1金曜日14:00~16:00	午前開催あり
14	みどり町3・4	974-5839	みどり町3・4丁目かりゆし会	第2水曜日14:00~16:00	
15	みどり町5・6	972-5606	みどり町5・6丁目福祉推進会	第4金曜日14:00~16:00	午前開催あり

■高齢者相談センター

番号	事業所名称	事業所所在地	電話番号
4	高齢者相談センター 具志川 ひがし	字上江洲661	974-4001
5	高齢者相談センター 具志川 きた	字栄野比1150	972-7124

■ふれあい総合相談支援センター

番号	事業所名称	事業所所在地	電話番号
1	うるま市社会福祉協議会（本所）	字安慶名488 うるま市健康福祉センターうるみん2階	973-5459

②公的施設

■市役所

番号	名称	所在地	電話番号
1	うるま市役所（本庁）	うるましみどり町1-1-1	974-3111 （総合案内）

■健康保健施設

番号	名称	所在地	電話番号
1	うるま市健康福祉センター「うるみん」	字安慶名488	973-4007

■生涯スポーツ施設

番号	名称	所在地	電話番号
1	うるま市具志川庭球場	字具志川2249	973-0230
2	うるま市具志川野球場	字具志川3500	973-0230
3	うるま市具志川総合グラウンド	字大田421	973-0230
4	うるま市具志川ゲートボール場	字大田421	973-0230
5	うるま市具志川総合体育館	字大田427	973-0230
6	うるま市具志川グランドゴルフ場	字大田427	973-0230

地区名：具志川第1地区

<地区の将来人口等>

(現状)

(将来推計)

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
・人口	35,633	35,795	35,911	35,983
・65 歳以上人口	5,728	5,940	6,156	6,289
・65～74 歳人口	2,709	2,805	2,939	3,043
・75 歳以上人口	3,019	3,135	3,216	3,245
・二次予防事業対象者	559	601	701	837
・要介護認定者	1,166	1,174	1,208	1,224

※将来推計は、平成 23 年現在の各地区の市全体に対する割合で算出。

<地区レベルの施策（住民参加による施策の推進）>

I-1 健康づくり・生きがいつくりの充実

- 自治公民館等で実施される特定健診・各種がん検診を受診しましょう。
- 中央公民館（建替予定）等での生涯学習講座を受講しましょう。
- 中央公民館等を利用し自主サークルの活動を進めましょう。
- 具志川総合体育館等社会体育施設を活用し、生涯スポーツを楽しみましょう。
- 地域の老人クラブ活動に参加しましょう。
- 公民館ミニデイ等地域のボランティア活動に参加しましょう。

I-2 介護予防・介護保険サービス等の充実

- 自治公民館や中央公民館等で実施される介護予防活動に友人を誘って参加しましょう。
- 住み慣れた地域で暮らし続けていくために、身近な地域にある介護保険サービスや医療サービス等を利用しましょう。

<圏域内の地域密着型サービス>

- ・小規模多機能型居宅介護 1箇所（既設）
- ・認知症対応型通所介護 1箇所（既設）
- ・認知症対応型共同生活介護 2箇所（既設）

II-1 支え合いの仕組みづくり

- 相談、支援が必要な場合には、「高齢者相談センター具志川きた」等を利用しましょう。
- 日頃から隣り近所の高齢者を気に掛け、必要に応じて声かけをしましょう。
- 社会福祉協議会が自治公民館で実施する小地域ネットワークづくり出前講座に参加しましょう。
- 地域見守り隊等住民主体の支え合い活動に参加しましょう。

II-2 安心・安全なまちづくり

- 災害時要援護者支援の取り組みを理解し、支援する側あるいは、支援される側として参加しましょう。

地区名：具志川第2地区

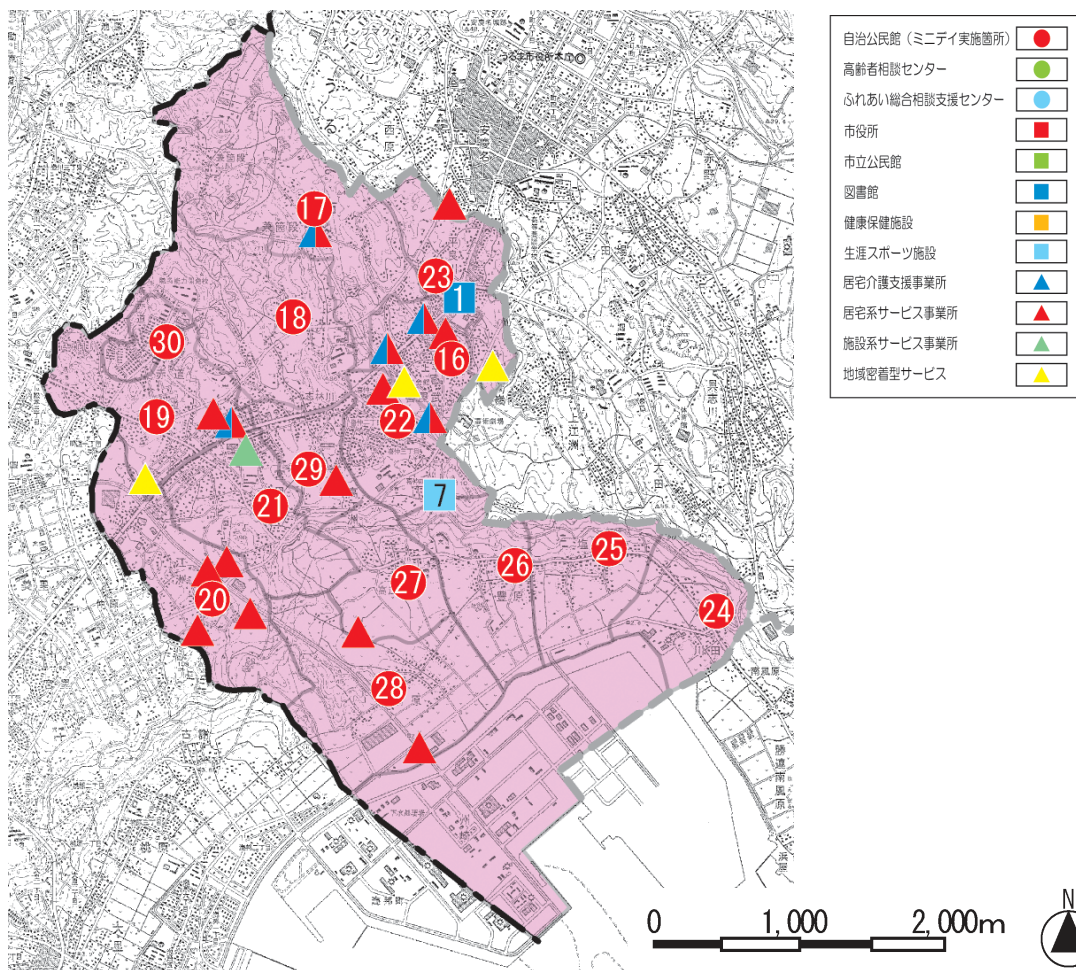
＜地区の現状＞（平成23年9月末現在）

- ・人口 33,532人
- ・世帯総数 12,701世帯
- ・65歳以上人口(対人口比) 5,035人(15.0%)
 - ・65～74歳人口 2,660人
 - ・75歳以上人口 2,375人
- ・高齢者世帯
 - ・高齢単身世帯 1,071世帯
 - ・高齢者のみの世帯 704世帯
 - ・高齢者のいる世帯 1,852世帯
- ・二次予防事業対象者 593人
（平成23年度把握事業より）
- ・要介護認定者 873人

＜地域社会基盤等の現状＞

- ・自治会数 15自治会
- ・自治会加入率 56.7%
- ・民生委員児童委員数 34人(定員38人)
- ・老人クラブ会員数 3,012人
（65歳以上人口に占める割合59.8%）
- ・公民館ミニデイ実施自治会 15自治会
- ・介護予防活動等サークル(健康運動) 10サークル
- ・公民館活動サークル 49サークル
（具志川第1地区も含む）

＜社会資源マップ＞



地区名：具志川第2地区

<社会資源一覧>

①地域活動拠点

■自治公民館（公民館ミニデイ実施箇所）

番号	行政区	電話番号	推進会名	実施日	備考
16	上平良川	973-3493	上平良川睦の会	第3木曜日9：00～12：00	
17	兼箇段	973-3552	兼箇段福祉推進会	第4水曜日9：00～12：00	
18	米原	973-3431	米原ゆんたく会	第1火曜日14：00～16：00	
19	赤道	973-3432	赤道区福祉推進会	第3水曜日13：30～16：00	
20	江洲	973-3001	江洲福祉推進会	第3火曜日13：30～16：00	午前開催あり
21	宮里	973-9013	みやざと友の会	第2木曜日9：30～12：30	
22	喜仲	979-0503	喜仲マップ会	第2火曜日13：30～15：30	
23	平良川	973-6059	平良川福祉推進会	第3木曜日13：30～16：00	
24	川田	973-3556	川田春風会	第3金曜日9：00～12：00	
25	塩屋	973-1936	塩屋福祉推進会	第3水曜日13：30～16：00	午前開催あり
26	豊原	973-1312	豊原	第3水曜日（不定期）	時間変動あり
27	高江洲	973-3571	あしばな会	第4月曜日13：30～16：00	
28	前原	973-4635	前原ゆいま～る会	第2木曜日14：00～16：00	午前開催あり
29	志林川	973-9009	志林川「イービ」事業推進会	第1火曜日13：30～16：00	
30	新赤道	973-6076	新赤道ピンピン会	第3火曜日9：00～13：00	自主活動で第1火曜日

②公的施設

■図書館

番号	名称	所在地	電話番号
1	うるま市立中央図書館	字平良川128	974-1112

■生涯スポーツ施設

番号	名称	所在地	電話番号
7	うるま市具志川喜屋武マップ庭球場	字仲嶺134	973-0230

地区名：具志川第2地区

<地区の将来人口等>

(現状)

(将来推計)

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
・人口	33,532	33,685	33,793	33,861
・65 歳以上人口	5,035	5,222	5,411	5,528
・65～74 歳人口	2,660	2,755	2,886	2,988
・75 歳以上人口	2,375	2,466	2,530	2,553
・二次予防事業対象者	593	637	744	888
・要介護認定者	873	879	904	916

※将来推計は、平成 23 年現在の各地区の市全体に対する割合で算出。

<地区レベルの施策（住民参加による施策の推進）>

I-1 健康づくり・生きがいつくりの充実

- 自治公民館等で実施される特定健診・各種がん検診を受診しましょう。
- 中央公民館（建替予定）等での生涯学習講座を受講しましょう。
- 中央公民館等を利用し自主サークルの活動を進めましょう。
- 具志川総合体育館等社会体育施設を活用し、生涯スポーツを楽しみましょう。
- 地域の老人クラブ活動に参加しましょう。
- 公民館ミニデイ等地域のボランティア活動に参加しましょう。

I-2 介護予防・介護保険サービス等の充実

- 自治公民館や中央公民館等で実施される介護予防活動に友人を誘って参加しましょう。
- 住み慣れた地域で暮らし続けていくために、身近な地域にある介護保険サービスや医療サービス等を利用しましょう。

<圏域内の地域密着型サービス>

- ・小規模多機能型居宅介護 1 箇所（既設）
- ・認知症対応型共同生活介護 1 箇所（既設）

II-1 支え合いの仕組みづくり

- 相談、支援が必要な場合には、「高齢者相談センター具志川ひがし」等を利用しましょう。
- 日頃から隣り近所の高齢者を気に掛け、必要に応じて声かけをしましょう。
- 社会福祉協議会が自治公民館で実施する小地域ネットワークづくり出前講座に参加しましょう。
- 地域見守り隊等住民主体の支え合い活動に参加しましょう。

II-2 安心・安全なまちづくり

- 災害時要援護者支援の取り組みを理解し、支援する側あるいは、支援される側として参加しましょう。

地区名：石川地区

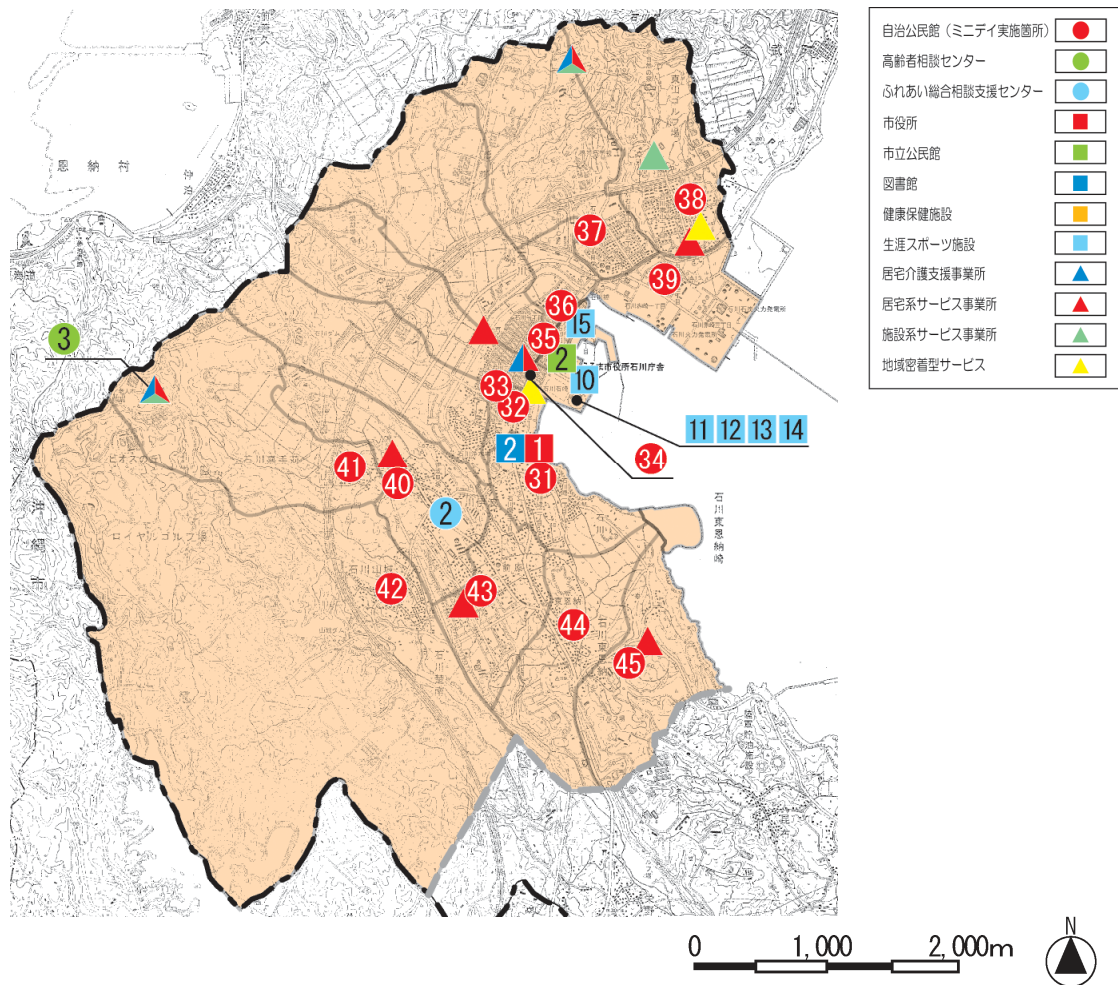
＜地区の現状＞（平成 23 年 9 月末現在）

- ・人口 23,540 人
- ・世帯総数 9,473 世帯
- ・65 歳以上人口(対人口比) 4,060 人(17.3%)
 - ・65～74 歳人口 1,967 人
 - ・75 歳以上人口 2,093 人
- ・高齢者世帯
 - ・高齢単身世帯 1,103 世帯
 - ・高齢者のみの世帯 539 世帯
 - ・高齢者のいる世帯 1,392 世帯
- ・二次予防事業対象者 415 人
（平成 23 年度把握事業より）
- ・要介護認定者 829 人

＜地域社会基盤等の現状＞

- ・自治会数 15 自治会
- ・自治会加入率 47.1%
- ・民生委員児童委員数 31 人（定員34人）
- ・老人クラブ会員数 1,521 人
（65 歳以上人口に占める割合 37.5%）
- ・公民館ミニデイ実施自治会 15 自治会
- ・介護予防活動等サークル（健康運動）4サークル
- ・公民館活動サークル 55 サークル

＜社会資源マップ＞



地区名：石川地区

<社会資源一覧>

①地域活動拠点

■自治公民館（公民館ミニデイ実施箇所）

番号	行政区	電話番号	推進会名	実施日	備考
31	曙	965-4780	石川曙福祉推進会	第4金曜日10:00~13:00	自主活動で第2金曜日
32	南 栄	964-4263	南栄区セミナー	第3月曜日14:00~16:00	毎週月曜日実施
33	城 北	964-5022	城北區うまんちゅセミナー	第2月曜日9:30~12:00	自主活動で第4月曜日
34	中 央	964-3630	中央区若水会	第2火曜日9:00~12:00	
35	松 島	964-2775	松島ドリームセミナー	第3月曜日9:30~12:00	
36	宮 前	965-4539	宮前区願寿セミナー	第2火曜日14:00~16:00	自主活動で第4火曜日
37	東 山	965-4297	東山区かりゆし会	第1木曜日9:00~13:00	自主活動で第3木曜日
38	旭	964-3428	ホルト会	第3木曜日9:30~12:00	
39	港	965-4964	ミニター港区もーあしび会	第1金曜日9:00~11:00	自主活動で第3金曜日
40	伊 波	965-1807	健福寿セミナー	第4金曜日9:00~12:00	自主活動で第2金曜日
41	嘉 手 苅	964-4350	嘉手苅区ほがらか会	第1水曜日9:00~11:00	自主活動で第3水曜日
42	山 城	965-4233	揃てい遊ばな山城区	第2金曜日14:00~16:00	自主活動で第4金曜日
43	石 川 前 原	965-7021	前原区いきいきうまんちゅ会	第4木曜日9:00~11:30	自主活動で第2木曜日
44	東 恩 納	964-3255	東恩納ふれあいセミナー	第3金曜日9:00~13:00	
45	美 原	965-4713	美原かりゆし会	第4水曜日9:00~12:00	

■高齢者相談センター

番号	事業所名称	事業所所在地	電話番号
3	高齢者相談センター いしかわ	石川嘉手苅961-17	965-6121

■ふれあい総合相談支援センター

番号	事業所名称	事業所所在地	電話番号
2	うるま市社会福祉協議会（石川支所）	石川石崎1-1	964-2494

②公的施設

■市役所

番号	名 称	所 在 地	電話番号
2	うるま市役所石川庁舎	うるま市石川石崎1-1	965-5691

■市立公民館

番号	名 称	所 在 地	電話番号
1	うるま市立石川地区公民館	石川曙2-1-52	964-3433

■図書館

番号	名 称	所 在 地	電話番号
2	うるま市立石川図書館	石川曙2-1-55	964-5166

■生涯スポーツ施設

番号	名 称	所 在 地	電話番号
10	うるま市石川体育館	石川石崎1-2	965-5121
11	うるま市石川運動場	石川石崎1-6	965-5121
12	うるま市石川屋内運動場	石川石崎1-6	965-5121
13	うるま市石川野球場	石川石崎1-6	965-5121
14	うるま市石川庭球場	石川石崎1-6	965-5121
15	うるま市石川プール	石川石崎2-7	965-3939

地区名：石川地区

<地区の将来人口等>

(現状)

(将来推計)

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
・人口	23,540	23,647	23,723	23,771
・65 歳以上人口	4,060	4,210	4,363	4,457
・65～74 歳人口	1,967	2,037	2,134	2,210
・75 歳以上人口	2,093	2,174	2,230	2,250
・二次予防事業対象者	415	446	521	621
・要介護認定者	829	835	859	870

※将来推計は、平成 23 年現在の各地区の市全体に対する割合で算出。

<地区レベルの施策（住民参加による施策の推進）>

I-1 健康づくり・生きがいつくりの充実

- 自治公民館等で実施される特定健診・各種がん検診を受診しましょう。
- 石川地区公民館等での生涯学習講座を受講しましょう。
- 石川地区公民館等を利用し自主サークルの活動を進めましょう。
- 石川体育館等社会体育施設を活用し、生涯スポーツを楽しみましょう。
- 地域の老人クラブ活動に参加しましょう。
- 公民館ミニデイ等地域のボランティア活動に参加しましょう。

I-2 介護予防・介護保険サービス等の充実

- 自治公民館や石川地区公民館等で実施される介護予防活動に友人を誘って参加しましょう。
- 住み慣れた地域で暮らし続けていくために、身近な地域にある介護保険サービスや医療サービス等を利用しましょう。

<圏域内の地域密着型サービス>

- ・認知症対応型通所介護 1 箇所（新規）
- ・認知症対応型共同生活介護 1 箇所（既設）

II-1 支え合いの仕組みづくり

- 相談、支援が必要な場合には、「高齢者相談センターいしかわ」等を利用しましょう。
- 日頃から隣り近所の高齢者を気に掛け、必要に応じて声かけをしましょう。
- 社会福祉協議会が自治公民館で実施する小地域ネットワークづくり出前講座に参加しましょう。
- 地域見守り隊等住民主体の支え合い活動に参加しましょう。

II-2 安心・安全なまちづくり

- 災害時要援護者支援の取り組みを理解し、支援する側あるいは、支援される側として参加しましょう。

第5章 計画推進に向けて

本計画は「おじー・おばーが 生き生き がんじゅうに暮らすまち」を将来像として描き、各施策に取り組んでいきますが、効果的に実施するためには本計画の市民に対する周知、行政における関係部署の連携、そして保健・医療・福祉の関係機関・団体の連携が不可欠です。

また、施策の充実を図るため、施策の進捗状況を適宜点検・評価し、3年ごとの計画見直しにつなげていきます。

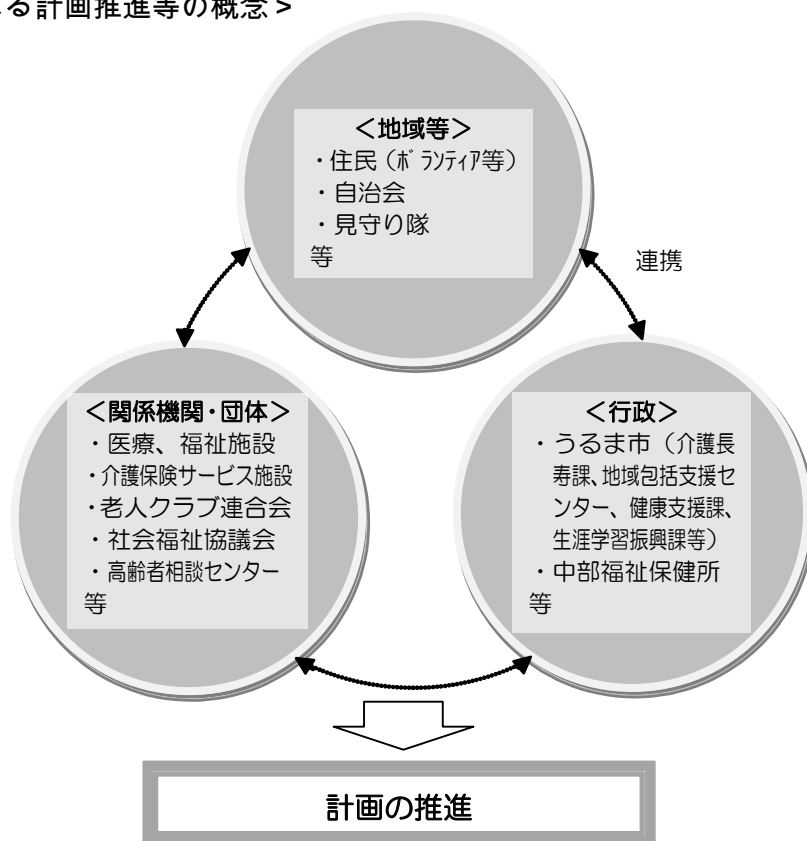
1. 高齢者をはじめ市民への計画等の周知徹底

本計画は、高齢者本人が地域で健やかに暮らし続けていくことと、本市の高齢社会を市民全体で支えていくことを大きな目標としています。そうした目標を実現していくためには、本計画について、高齢者をはじめ全ての市民が一定理解を示し、それぞれの立場で必要な行動に取り組んで頂くことが重要と考えます。例えば、高齢者はいつまでも健やかに暮らしていくために介護予防活動等に積極的に取り組む、例えば、児童、生徒や壮中年の市民は、交流等を通じて高齢者への理解を深めるとともに、健やかな高齢期を迎えるための健康づくりに取り組むなど、それぞれの立場で必要な行動がなされるよう、本計画の周知を徹底的に図っていくことが肝要です。そうすることで介護保険料の増加の抑制にも結びつくものと考えます。したがって、計画等に関する勉強会の開催を支援するなど、計画の周知に向けた取り組みを自治会等と連携しつつ進めていくこととします。

2. 行政及び保健・医療・福祉の関係機関等の連携推進

本計画に位置づける施策は、多くの分野にわたっています。各施策の円滑な推進に向けて、自治会等地域や関係部署、及び関係機関への情報発信を行うとともに、連携を深め、一体的に取り組めるよう努めていきます。

<連携による計画推進等の概念>



3. 計画の進行管理の仕組みづくり

本計画の施策に関しては計画期間（平成24年度～26年度）内において、定期的な施策の進捗確認を行い、必要に応じて取り組みの強化や見直し等を進め、市民ニーズへの対応や課題解決につなげていく必要があります。施策の点検等は介護長寿課が中心となって行政内部の関係部署と連携し行うとともに、本計画策定委員会委員を中心とした（仮称）うるま市高齢者計画等推進委員会を設置し、そのもとで計画の進行管理に努めます。

これらの施策の点検や評価を次期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に引き継ぎ、本計画が目指す目標達成に向けて取り組んでいきます。